

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第 178 号 2022 年 5 月 10 日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

5 月号
2022

ペテルギウス玄関
5月5日の生け花

表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」主催
2021「第14回やまと国際アートフェスタ」
入賞作品を掲載しています。

今回のテーマは
～ 笑顔のために ～

「画廊喫茶オルセー賞」

金 がおん さん

大和東小学校 2 年 《大韓民国》

タイトル「みんなでodorou」

メッセージ：

いっしょに歌ったり、
おどったりすると楽しくて
しぜん笑顔になります。
私たちを一つにしてくれます。

「やまと国際アートフェスタ」は
「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *
の主催で毎年催されています。

*草の根の国際交流、外国人支援を行いながら
「ともにくらすまち 大和」を考えるボランティア
グループです。

3月5日にZOOMによるプレゼンテーションが行われ
令和4年度大和市民活動推進補助金の交付が決まりました。

既に補助金事業が始まっています。
適宜、ニュースレター、SNS等でお知らせいたします。
ご利用、ご参加ください。

「めばえ」：活動をこれから始める、又は始めたばかりの皆さんに対する補助			「はぐくみ」：既に活動をしている皆さんが、より活動を発展させるための補助		
団体名	事業名	決定額	団体名	事業名	決定額
こころサポーター かながわ協会設立準備会	こころサポーター かながわ協会設立準備会	50,000 円	市民活動グループ ごきげんカンパニー	家族の介護を乗り切る ための連続セミナー	200,000 円
地域を明るくする リハビリテーション 専門職の会 大和	リハビリテーション専門 職によるアウトリーチ活動	50,000 円	やまとパワフル ミュージックサポート	大和駅前パワーアップ イベント事業	200,000 円



FM YAMATO
77.7MHz

やまもり☆ホッとスクランブル
大和市民活動センターだより

『やまとっこ☆みつけた』



第 396 回 4/19(火)「大和おやこ劇場」

北部副運営委員長 福田 真奈さん

南部副運営委員長 右田 恵子さん



大和おやこ劇場は「子ども達により良い文化環境の中で豊かに
成長して欲しい」という願いを基に 1980 年 3 月に創立、3 歳
からシルバー世代まで約 750 名の会員で構成され舞台芸術の
観賞の他、キャンプやおやこまつり等のイベントを開催。観賞
する作品は全会員のアンケートから選ぶ等、一人ひとりが主体
的に関わっています。文化芸術に触れることで日常が彩り
豊かになることに加えて、仲間と共に観劇する喜びは格別と語
りました。



次回の出演

398 回 5/17 (火)「emotional connection」

399 回 5/31 (火)「市民活動グループ ごきげんカンパニー」

FM やまと 77.7MHz 第 1.3.5(火) 生放送 9:00 ~ 10:00
同日再放送 15:00~

第 397 回 5/3(火)「NPO 法人 ブラービ」

代表 雨宮 正樹さん(声楽家)

事務局長 島崎 健治さん(写真家)



「全ての人に良い音楽が届いているか」を合言葉に様々な場
所に質の良い音楽を届ける訪問コンサート活動実施を目指し
2021 年 11 月 NPO 法人ブラービを設立。ブラービとはイタ
リア語でブラボーの複数形とのこと、クラシック、ジャズ等
の音楽を軸にして喜びの分かち合いを願い、活動を開始しま
した。「コロナ禍もあり活動がままならないこともあります
が、今を種まきの時期と捉えて頑張っています。」と力強く語
りました。



TSUBASA's トーク 第7回「緑のふるさと協力隊 岩手県一関市」

①農業・食文化・伝統芸能に関心があり岩手県一関市へ

3 月に国際基督教大学(ICU)を卒業した僕は、そのまま「緑の
ふるさと協力隊」として 4 月 12 日から岩手県一関市で生活し
ています。

「緑のふるさと協力隊」は NPO 法人
地球緑化センターの事業で、地域を元
気にしたい農山村と、農山村での暮ら
しに関心のある若者をつなぐ 1 年間の
プログラムです。29 期目となる今年
度は 14 人の協力隊員が全国に派遣さ
れています。



同期のみんなと

僕が参加を決めた背景には、日々の生活を支えている農業・食
文化・伝統芸能・健康について体験を通して学びたいという思
いがありました。こうした体験が岩手県一関市であればできると
思い、面接の時に派遣先の希望を伝えました。

②心構えや農山村を学び、同期と交流した事前研修

4 月 6 日から 4 月 12 日の間、山梨県の上野原市で事前研修
に取り組みました。研修では、講義やフィールドワークを通じ
て、協力隊としての心構えや、農山村の
現状・問題点を学びました。チームで行
ったフィールドワークでは上野原市で生
活する方々から地域の魅力や課題を引き
出し、ポスターにまとめて発表しました。



フィールドワークの発表

始まる前は「初対面の人たちと 1 週間過ごす
なんては疲れるし緊張するから嫌だ」と思っ
ていましたが、食事や入浴、レクリエーション
の中で、協力隊になった経緯や研修に対する思い
を語り合い、今後 1 年間、支え合う関係を築けたと思います。



焚き火

③活動が終わった後や、一軒家での一人暮らしに不安

しかし、こうして関係を深めた僕たちは研修後には離れ、
それぞれの派遣先へ向かいました。

僕は一人で一関市に向かう時、「一年間の活動の後、自分は
どうすればいい?」という不安を感じていました。出発前に
友人や母から活動後のことを頻りに訊かれ、ぼんやりとしか
答えられないことが多かったからです。



一方で到着後は、自治体と地球緑化センタ
ーの支援があるため、安心感もありました。
家や車、必要最低限の生活費は保証されて
おり、問題があればすぐに相談できる体制が整っています。
実際、灯油が足りずストーブが使えなかった時も自治体の担
当者が灯油業者を呼んで対応してくれました。家の立地は田
んぼと山に挟まれて静かで、4 月末の今でも冷えます。

④始まる、地域での活動

確かに、活動終了後や新しい暮らしへの不安もありますが、
まずはそうした気持ちにも向き合えるよう、日記に綴ってい
ます。最近、食事処で出会った地域的美容師のご婦人が深
い赤パーマと派手な服装で個性的だったので、散髪後に個
性的な髪型になることへの不安を綴りました。

不安がありつつも徐々に近所や市役所への挨拶回りや、農
作業の手伝いを始めています。農作業はトマトの苗植えや、
稲の種まきなど、暑いビニールハウス内での農作業も体験し
ました。そうして疲れた日には、夜に同期と電話で雑談する
時間が支えになっています。

岩手県一関市での活動は今後も「あの手
この手」に掲載予定です。

(サポーター 尾畑翼)



トマト苗植え

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第 178 号 発行日：2022 年 5 月 10 日

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>
<休館日 12 月 29 日～1 月 3 日・毎月第 3 月曜日>
〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/

大和市を際(極)める、自由きまま旅 第1回 長後駅から高座渋谷駅まで歩く



ウイズ・コロナの生活が、もうしばらく続きそうな気配ですが、健康を維持して生活にうるおいをもたらすためには、身近なところを歩いてみるのもひとつの方法では？とひらめき、この連載をスタートいたしました。

2020年4月7日に、国内最初の緊急事態宣言が7都府県に出されて、自治体間を越えた移動の自粛を求められたとき、私は、それまでしていなかった家の近所(小学校区、中学校区とも言える)を歩くことを始めました。すると、地域に農家の直売所があったり、普段見過ごしていた自然に出会ったり、野良猫に出会ったり。外出制限のある中でも、楽しみも見いだせて、結果的に健康維持にもつながったのではと思います。まん延防止等重点措置が解除されて、こうした地域歩きの機会が減ってきましたが、大和市内には、小田急江ノ島線、相鉄線、東急田園都市線の3本の私鉄が走っていますので、その駅間ごと自由気ままに歩くとともに、南北に流れる境川、引地川沿いなど、大和市と他市との際(きわ)も見極めてみようと思い立ち、不定期に連載を始めます。

その第1回は、長後駅から高座渋谷駅間。東西に大きく横歩きもした中、目に留まった草花や建物を写真に収めました。読者の皆さんが街歩きをするときの参考になれば幸いです。 (旅人・編集・写真:船越英一、イラスト:望月)

今回旅したのは、4月18日と19日。あいにく、雨に降られたこともあり、2日に分けて、一眼レフを持って歩きました。歩いた距離と歩数は、両日とも約9km、15,000歩くらい。目的を決めず、ぶらぶらと歩くのは楽しい!!

①



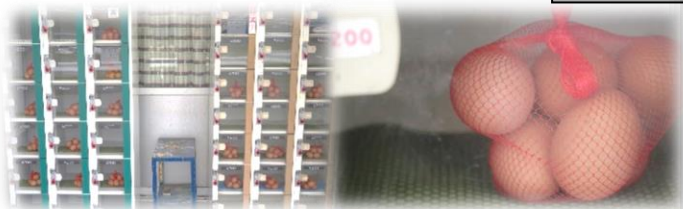
長後市民センターを出発。藤の花の咲き初めでした。花蜂がぶんぶん飛んでいましたが、この蜂は人を刺さないらしい

②



梨の花開花。藤沢市北部には、梨、ブドウ農家が点在しています

③



引地川そばに、養鶏場の卵の自動販売機があります。緊急事態宣言中はよく買いに来て、お世話になりました

④



引地川の土手には、春の名残の菜の花があちこちに咲いていました

⑤



藤沢総合高校そばの引地川ぞいに咲いていた石南花

⑧



小田急江ノ島線高座渋谷駅の下を通る新幹線。高座渋谷にも止まれるのになあ

⑫



267号線を越えて、東側へ下る細い道

⑬



県営いちよう団地の給水塔? 渋谷中学校前

⑮



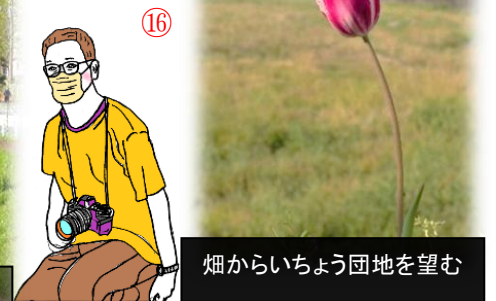
境川の小さな滝。横浜市側を望む

⑰



団地そばのスーパー。台湾産パイナップルを買いました

⑯



畑からいちよう団地を望む

4月の展示コーナー

4/1~15 「食のアトリエ活動報告」



市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせください。

共育ボードより

☆やさしい笑顔のみなさん、これからも子どもたちや地域のため、よろしくです!!

☆子どもが食に興味を持てるように考えることが大事だとわかりました。子どもの目線で食育をたてていこうと思いました。

4/16~30 「F氏の作品展」



共育ボードより ☆いろんなことをがんばってください! —6さい、1ねんせい

☆いろんなことやればできることも! いっぱいがんばればできるから、力いっぱいやりつくせ! —6さい ☆すごいと思いました。これからも頑張ってください。—6年生☺

☆風の人 あそびびとさんへ 人生って楽しいですね! おしえてくれて、ありがとう!

☆見ているだけで楽しくなってきます。写真と絵のコラボレーションステキですね!!

☆芸術的作品で表現力いっぱい! 楽しい空間です。

⑪



ティータイムにキッシュとコーヒー

⑨



IKOZAの渋谷文化会館、渋谷分室入口横にいる。テレビ番組の企画で誕生、2010年に市に寄贈されて、渋谷つながりで高座渋谷へ

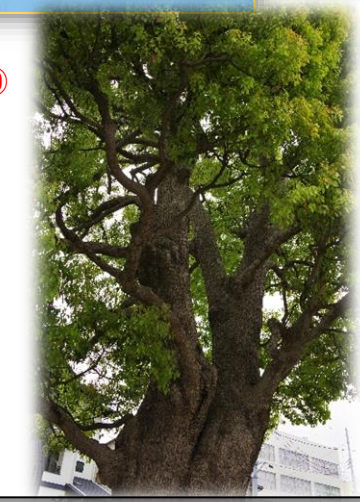


⑦



福田公園 名残のチューリップと藤が咲き始めていました

⑩



渋谷の区画整理後も残った渋谷小学校前のクスノキ。樹齢110年余の巨木